

教科名	国語科	科目名	講読
対象学年	中学1年	コース・選択	—
単位数	3単位/週	教科書 (出版社)	中学校国語1 (学校図書)
使用教材	「中学校国語1」(学校図書) 「基礎の学習国語1」(新学社) 「クリティカルシンキング エントリーI」(学研) 「ステップ別常用漢字」(浜島書店) 「愛知県版国語便覧」(浜島書店) 「夏期・冬期・春期テキスト」(文理)		
学習のねらい	日本語にはさまざまな表現の形態があることを認識し、それぞれの読解の仕方や感じ取り方を覚え、漢字やことばの意味等言語に関する知識を増やす。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい・留意点
	4月	「はる」(詩) ・話す・聞く1 お気に入りを紹介しよう 「空飛ぶ魔法のほうき」(随筆)	・詩をとおして言葉の学習の意義を感じとる。 ・何を伝えたいか自分の思いを言葉で表現し、分かりやすく効果的なスピーチを行う。 ・想像力の役割を考える。筆者の考えとエピソードの関係をよむ。
	5月	「変わる動物園」(説明文) 「風呂場の散髪」(小説)	・自然と関わる生を考える。構成に即して主張を捉える。 ・心情にかかわる表現を見つけ、その表現に即して作中人物の心情を理解する。
	6月	・弁論の作成・発表 「まなちゃんの道」(随想)	・回想表現の特徴や意義をとらえる。
	7月	「字のない葉書」(随想) クリティカルシンキング	・戦争時代の生き方を学び、意見を共有する。 ・人物の行動から人物像を理解する。 ・文脈などを考えて、論理的に正しい答を導き出す。
	9月	「兄やん」小説	・心情や思考を描く表現から状況のなかでの人物の考えを理解する。
	10月	故事成語(漢文)	・二つの故事成語のそれぞれについて、そのもとになった話(漢文の書き下し文)を読んで理解し、漢文訓読の調子に慣れる。 ・二つの故事成語の現在の意味を、具体例を挙げて理解する。
	11月	言葉の向こうに(古典解説導入) 竹取物語(古文)	・古典を読むとはどういうことかを理解し、古典への興味と読みの構えを作る。 ・「竹取物語」の原文に触れ、古文に興味を持つ。 ・「竹取物語」に語られている語り手の思いを読み取り、語り手と対話する。

学習内容の流れ	学期・月等	単元	ねらい・留意点
	12月	ぬすびと面 (小説)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフに着目しつつ人物の思考を跡づけ、主題をとらえる。</li> <li>・読書に親しみ、進んで読もうとする姿勢を身につける。</li> </ul>
	1月	ものづくりに生きる (説明・評論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルポルタージュと聞き書きを読むことで、「社会で働く」ということについて考えを深める。</li> </ul>
	2月	少年の日の思い出 (小説)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物像と人物関係をとらえ、人物の行動の意味を理解する。</li> </ul>
	3月	クリティカルシンキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた情報から論理的に考えて説得力のある答を導き出す。</li> </ul>
学習の留意点・評価など	<p>予習としてひと通り読み、わからない言葉・漢字・文をチェックして自分の力で辞書などを使って理解できるように指導する。漢字テスト、読書指導、弁論指導なども行う。</p>		
備考			

教科名	国語科	科目名	文法
対象学年	中学1年	コース・選択	—
単位数	1単位	教科書 (出版社)	
使用教材	中学国文法のドリル (吉野教育図書)		
学習のねらい	これまで学習してきた日本語の断片的な知識を系統的に整理し、正しく理解する。また文章を正確に読みとり、わかりやすい文章を書かせるなど、正しいことばづかいを身につける。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	1. ことばの単位 2. 文の組み立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文節、単語などのことばの基本的な単位を理解する。</li> <li>・文節と文節の関係やその働きを理解する。</li> <li>・単語がその性質や働きによって品詞に分けられることを知る。</li> <li>・各品詞の特徴、特に活用について理解する。</li> </ul>
	5月	文節と文節との関係・文の成分の位置 3. 単語の種類	
	6月	4. 用言 ・動詞	
	7月		
	9月		
	10月		
	11月	・形容詞 ・形容動詞	
	12月	5. 体言 ・名詞	
	1月		
	2月	6. 体言・用言以外の自立語 ・副詞・連体詞	
	3月	・接続詞・感動詞	
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語のきまりを、系統的に整理できたか。</li> <li>・「読む」「書く」「聞く」「話す」などの日常生活の上で文法（ことばのきまり）を理解し、生かすことができるか。</li> </ul>		
備考			

教科名	国語科	科目名	講読
対象学年	中学2年	コース・選択	—
単位数	3単位	教科書 (出版社)	中学校国語2 (学校図書)
使用教材	「中学校国語2」(学校図書)「基礎の学習2」(新学社) 「ステップ別常用漢字」(浜島書店)「簡明百人一首」(尚文出版) 「愛知県版国語便覧」(浜島書店)「夏期・冬期・春期テキスト」(文理)		
学習のねらい	日本語に関して一年時に得た知識を基にさらに理解を深め、適切に表現する能力を養うことによって広く言語感覚を高めるとともに、日本文化について豊かに学ぶ姿勢を育てることを目標とする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	「おたまじゃくしたち四五匹」(詩) 「昔話」(随想) 「吟味された言葉」(随想)	・詩を通して自分を見つめる。 ・筆者の現代社会への問いかけを理解する。
	5月	「逃げることは、ほんとにひきょうか」(説明)	・筆者の考えをもとに様々な場面を想定し、理解を深める。
	6月	弁論文の作成・発表 「サーカスの馬」(小説)	・主人公の人物像を読み取るとともに、その心の変化をとらえる。
	7月	「短歌」「短歌十五首」 「目撃者の眼」(随想)	・歌に描かれた世界を豊かに想像し、短歌特有の表現を味わう。 ・長崎の被爆に対する報道写真家の考えを読みとり、平和に対する思いを高める。
	9月	「平家物語」(古文)	・仮名遣いや語句の意味に注意しながら場面を読み解く。
	10月	「若者が文化を創造する」(説明)	・筆者の提示した事例を読み取り、文化とは何かを考える。
	11月	「論語」(漢文)	・訓読文を読みこなせるようにする。 ・論語の思想、日本への影響を理解する。
	12月	「壁に残された伝言」 (随想・プリント)	・3年修学旅行で見学するとよい広島県の袋町小学校にある「壁に残された伝言」について、理解を深め、関心をもつ。

学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	1月	「走れメロス」(小説)	・登場人物の言動を通して、人間のあり方について考える。
	2月	「アラスカとの出会い」(随想)	・筆者の体験を参考に、人生を左右する出会いについて思いを巡らせる。
	3月	「徒然草」(古文)	・古い時代の思想にふれ、現代とのつながりを意識する。
学習の留意点・評価など			
備考			

教科名	国語科		科目名	口語文法・書写		
対象学年	中学2年		コース・選択	——		
単位数	1単位		教科書 (出版社)	中学校書写(学校図書)		
使用教材	新ことばのきまり(暁教育図書) クリティカル・シンキング〔エントリーI〕(学研) 中学国文法のドリル(吉野教育図書)					
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な理解と適確な表現力を身につけるために断片的な文法の知識を系統的に学習し、それぞれの品詞の働きと意味について理解する。(口語文法)</li> <li>・文字を正しく整えて速く書くことができるように行書の習得をするとともに、文字感覚の育成と書写能力を日常生活に役立てられることを目指す。(書写)</li> <li>・与えられた資料を読み取り筋道を立てて答えを導くロジカルシンキングと、与えられた資料以外のことも考え物事を考察するクリティカルシンキングの2つの力を養い物事を立体的に考える力がつくことを目指す(クリティカルシンキング)</li> </ul>					
学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元		学期・ 月等	単元	
	4月	中 間	<b>【クリティカル・シンキング】</b> 1. Step 11~12  <b>【口語文法】</b> 1. 助詞	11月	期 末	<b>【クリティカル・シンキング】</b> 3. Step 17~22  <b>【口語文法】</b> 4. 助動詞 5. 敬語の用法 6. 紛らわしい品詞の見分け方
	5月		12月			
	6月	期 末	<b>【クリティカル・シンキング】</b> 2. Step 13~16  <b>【口語文法】</b> 2. 助詞	1月	学 年 末	<b>【書写】</b> 2. ちらし書き(筆)
	7月		2月	<b>【クリティカル・シンキング】</b> 4. Step 23~30		
	9月	中 間	<b>【書写】</b> 1. 行書の学習 行書の筆使いと字形 ・点画の連続、点画の変化と省略	3月		
10月	<b>【口語文法】</b> 3. 助動詞					
学習の 留意点・ 評価など						

教科名	国語科	科目名	講読
対象学年	中学3年	コース・選択	——
単位数	3時間/週	教科書 (出版社)	中学校国語3 (学校図書)
使用教材	「中学校国語3」(学校図書)「基礎の学習国語3」(新学社)「愛知県版国語便覧」(浜島書店) 「ステップ別常用漢字」(浜島書店)「簡明小倉百人一首」(尚文出版) 「夏期・冬期・春期テキスト」(文理)		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字、語句、文字や文法などの基礎的事項を身につける。</li> <li>・筆者の主張や登場人物の心情などを文章や作品から読み取り、自分なりの意見や考えをもつ。</li> <li>・自分の考えをまとめ発表し合う力をつける。</li> <li>・古典の作品をとおして、古人の心情などを読み取る。</li> </ul>		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	言葉の共有(随想) ケナリも花、サクラも花(随想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を吟味して、言葉が生み出す絆を見つめる。</li> <li>・主体的に意味を生成する。</li> </ul>
	5月	黒い雨(小説)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を吟味して歴史における生についての理解を広げ深める。</li> </ul>
	6月	ディズニーランドという聖地 批評する言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価値観の起源を考える。</li> <li>・批評の言葉を見つける。</li> </ul>
	7月	存在(詩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の意味を考える。</li> </ul>
	9月	握手(小説) 文字を見抜く -表意文字と表音文字 -常用漢字表の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を吟味して歴史における生についての理解を広げ深める。</li> </ul>
	10月	心を動かす言葉 運動会(説明・評論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手の心をつかむ話し方を見つける。</li> <li>・表現を吟味して思考することの意味について考える。</li> </ul>
	11月	俳句(俳句) パールハーバーの授業(随想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景や心情、作品が書かれた社会的状況も捉える。</li> <li>・国際社会における人間のあり方について考える。</li> <li>・筆者の経験と、そこから得たものを読み取り、自らの経験を振り返る。</li> </ul>
	12月	武蔵野の風景(説明・評論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史をふまえた論理的思考を深める。</li> </ul>
	1月	故郷(小説) 文字を見抜く -平仮名と片仮名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と共有し得る未来への願いを考える。</li> </ul>
2月	顔の見える国際協力 (説明・評論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの国際協力について考える。</li> </ul>	
3月	白い闇の方へ(詩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害からの復興の課題と言葉との関係について考える。</li> </ul>	
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字、語句の意味などの基本的事項の定着を促す。</li> <li>・文章の種類と特徴を考え、中心となる主張や心情をとらえられるようにする。</li> <li>・補助教材や写真、映像などを用い、内容を実感に近づけてとらえられるようにする。</li> </ul>		

教科名	国語科		科目名	古典
対象学年	中学3年		コース・選択	—
単位数	1単位		教科書 (出版社)	中学校国語3 (学校図書)
使用教材	基礎の学習3 (新学社) 古典文法クリアノート (尚文出版)			
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文学世界を知り、古典に親しむ態度を養う。</li> <li>・文語文法の入り口に触れ、古文読解理解への足がかりを考えさせる。</li> </ul>			
学習内容と流れ	学期・月等	単元		ねらい
	4月	中間	随筆プリント 徒然草	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的かなづかい</li> <li>・品詞、活用形の確認</li> <li>・動詞の学習 (四段活用)</li> <li>・「係り結びの法則」の知識</li> </ul>
	5月		仁和寺にある法師	
	6月	期末	万葉・古今・新古今	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の学習 (その他の活用)</li> </ul>
	7月			
	9月	中間	枕草子 春はあけぼの、うつくしきもの、 香炉峰の雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の復習、定着</li> </ul>
	10月			
	11月	期末	おくのほそ道 旅立ち、平泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞・形容動詞の学習</li> </ul>
	12月			
	1月	学年末	漢詩 春望、送元二使安西、静夜思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用言の復習、定着</li> <li>・漢文訓読の確認と練習</li> </ul>
2月				
3月				
学習の留意点・評価など	文語文法の習得を基盤に据え、古典文学作品の読解を無理なく関わらせてゆく。 また、文法習得のための練習問題は適宜用意し、利用する。			
備考				



教科名	国語科	科目名	国語総合（現代文）	
対象学年	高校1年	コース・選択	必修	
単位数	2単位	教科書 (出版社)	高等学校 国語総合（第一学習社）	
使用教材	最新国語便覧（浜島書店） 入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700			
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活を営む際に必要な「生きていく力」としての国語に目を開かせる。</li> <li>・論理的、感性的に書くことができるような言語能力を身につける。</li> <li>・国際化、情報化の時代にふさわしいコミュニケーション能力を高める。</li> <li>・幅広い分野の文学作品に触れ、感性や想像力をの伸ばす。</li> </ul>			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	4月 5月	小説 「羅生門」 芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短編小説の特色を理解させ、人物の性格・心理・行動を読み取らせる。</li> <li>・高校生としての自我の自覚と、小説を自分の問題として読む態度を養わせる。</li> <li>・「羅生門」の原典との比較などを通して、作品世界の理解を豊かにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の人間の生き方に関心をもたせ、同時に人間の普遍性について目を開かせる。</li> <li>・文体や語句、巧みな比喩、表現などに着目させる。</li> <li>・小説を読み、理解することから、それについての自分の考えを表現するようにさせる。</li> </ul>
	6月	評論 「水の東西」 山崎正和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の文章の流れをつかみ、筆者の思いや考えを理解する。</li> <li>・対比されている語句、内容を整理しながら読解させる。</li> <li>・文化論への関心を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西文化の異質性を考えさせ、対比をつかませる。</li> </ul>
	7月	詩 「楚のうへ」 三好達治 「一つのメルヘン」 中原中也 「くらげの唄」 金子光晴 「I was born」 吉野 弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代詩、現代詩を鑑賞し、その技法について学ぶ。</li> <li>・詩の主題について考察し、自分の問題としてとらえさせる。</li> <li>・作品から作者や時代状況、文化的背景などについて考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩のリズムや音楽性を理解させる。</li> <li>・イメージの展開やそこに込められた作者の意図を把握させる。</li> </ul>
	9月 10月	随想 「『映像体験』の現在」 松浦寿輝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想を読み、作者の視点、洞察力、考えを読み取る。</li> <li>・視野を広げ、幅広い問題意識を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章読解の中から、映像氾濫時代野中での生き方を模索させる。</li> <li>・作品の内容を自己の内面に反映させる。</li> </ul>

	学期・月等	単元	ねらい	留意点
学習内容と流れ	11月 12月	短歌と俳句 「その子二十」 「こころの帆」	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌、俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>作者の心情を読み取り、歌や歌人への思いを深めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌、俳句独特の表現技法を理解し、その効果を鑑賞させる。</li> <li>限られた字数の中で厳選された言葉の響きや意味を味わわせる。</li> </ul>
	1月	表現の実践 「④創作する」	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌俳句の読解を基にショートストーリーを創作させる。</li> </ul>	
	1月	評論 「グローバリズムの『遠近感』」 上田紀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的な文章読解の技術を習熟させる。</li> <li>自分自身を取り巻く世界を相対的に見る視点を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的文章展開をとらえさせる。</li> <li>日常では自明な事柄を自覚的に相対化していく視点を身につけさせる。</li> </ul>
	2月 3月	小説 「城之崎にて」 志賀直哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力的感性と人間的知性への貢献としての小説の問題を考える。</li> <li>電車の事故に遭った自分が療養先での小動物の死に遭遇した時の精神の動きを鑑賞させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡潔な文体の文学的文章を味わう。</li> <li>主人公の心境を読み取らせ、そこから主題を考えさせる。</li> </ul>
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導すべき基本的な五つの項目からの到達度を総合して評価する。</li> <li>授業中の態度、音読、ノート、課題、小テスト、グループ討議等の方面から評価する。</li> </ul>			
備考				

<b>教科名</b>	国 語 科	<b>科 目 名</b>	国語総合（古典）	
<b>対象学年</b>	高校1年	<b>コース・選択</b>	必 修	
<b>単位数</b>	2単位	<b>教科書 (出版社)</b>	新訂国語総合（第一学習社）	
<b>使用教材</b>	基礎学力システム必修古典・漢文（数研出版） 基礎学力システム必修古典ノート・漢文ノート（数研出版） 新訂最新国語便覧（浜島書店） 標準古典文法（第一学習社） 読んで見て覚える古文単語315（桐原書店）			
<b>学習のねらい</b>	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る感情を育てる。また、日本の伝統的古典文化に関心を持たせる。			
<b>学 習 内 容 と 流 れ</b>	<b>学期・ 月等</b>	<b>単 元</b>	<b>ね ら い</b>	<b>留 意 点</b>
	4月	(古文)「宇治拾遺物語」児のそら寝	①心情の変化を読み取り、話の面白さを味わう。 ②用言の復習、助動詞について学ぶ。	
	5月	(漢文) 漢文入門・故事成語	漢文の基本的構造を理解する。	
	6月 7月	(古文)「伊勢物語」	作者の価値観を理解し、随筆の面白さを味わう。 歌物語の特色を理解する	
	9月	(漢文) 史伝	比較的長い、平易な文章の漢文に触れ、訓読の決まりについて確認する。	
	10月	(古文)「平家物語」	合戦の日々を送った人々の人生を考える。	

	学期・月等	単元	ねらい	留意点
学習内容と流れ	11月	(漢文) 漢詩	漢詩の形成、作者の心情を理解する	
	12月	(古文) 和歌 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	歌が詠まれた状況と作者の心情を読み取っている。	
	1月	(古文)「土佐日記」	日記文学の特色を理解する。	
	2月	(古文)「奥の細道」	紀行文学の特色を理解する。	
	3月			
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」、「話す、聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識・理解」の五つの観点についてそれぞれの到達度を総合し、評価する。</li> <li>・提出物への取り組み、授業中の態度、音読・朗読、ノート、課題プリント、小テスト、グループ活動など、様々な方面から評価する。</li> </ul>			
備考				

教科名	国語科	科目名	現代文
対象学年	高校2年	コース・選択	コースⅠ・Ⅱ・Ⅲ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	精選現代文(東京書籍)
使用教材	○最新国語便覧(浜島書店) ○入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700		
学習のねらい	○「関心・意欲・態度」、「話す、聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」 ○「知識・理解」といった観点にのっとり、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月 5月	(評論) 「ミロのヴィーナス」	筆者の実感の中心、感動の本質を逆説的な表現、考察によって解き明かしていく方法を学ぶ。
	6月 7月	(小説) 「山月記」	表に現れたものでは知り得ない、人間存在の内奥について考え、創設の構造をなす事項(時・場・人物・事件設定)や人物の心理を的確に読み取る。
	9月	(評論) 「相手依存の自己規定」	日本人の自我構造と日本語尾使われ方を整理して納得できる領域において理解させる。
	10月 11月	(詩歌) 「永訣の朝」 「竹」	さまざまな詩を読み、抒情世界の広がりや奥行きを学び、さまざまな表現方法、想像力を育成する。近代詩から現代詩への変遷を学び、詩人の生き方を考える。
		(評論) 「日本人の美意識」	文章構成や、段落相互の関係性を読み取りながら、筆者の主張や意見をとらえる。
	12月 1月	(小説) 「こころ」	登場人物の心理的变化を正確に読み取り、明治という時代の制度や理念などを調べ、登場人物の行動を読み取る中から、人間の精神のあり方について考える。
	2月 3月	(評論) 「である」と「する」こと	文章中の語句を文脈の中において理解した上で、現実的な自己観念範囲内の認識を捉え直し、文意を把握する。
学習の留意点・評価など	<p>高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには総合的実践力を育成するに足る言語力を身につけさせる。</p> <p>高校生の知性や感性の育成のために、エッセイ、小説、詩などの文学教材におけるすぐれた文章を味わわせる。</p> <p>自然科学、社会科学あるいは、その境界領域の分野の文章を読み、現代社会に対応する国語力を身につけさせ、新しい時代の感性をもって言語文化への関心を高めさせる。</p>		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校2年	コース・選択	コースⅠ・Ⅱ・Ⅲ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	精選古典B 古文編・漢文編(東京書籍)
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最新国語便覧(浜島書店)</li> <li>○チャート式必修古文・漢文(数研出版)</li> <li>○チャート式必修古文ノート・漢文ノート(数研出版)</li> <li>○標準古典文法(第一学習社)</li> <li>○読んで見て覚える古文単語315(桐原書店)</li> </ul>		
学習のねらい	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 説話「宇治拾遺物語」小野篁、広才のこと	説話を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像にふれることで、古典に親しむ態度を養う。
	5月	(漢文) 小話「先従隗始」「不死之薬」	比較的短い作品の読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典にふれる楽しさを味わう。
	6月	(古文) 物語「伊勢物語：初冠」 随筆「枕草子：九月ばかり」	話の展開を正確に読み取るとともに、和歌に託された心情を考えることで、歌物語を鑑賞する力と古典に親しむ態度を養う。随筆を読み、自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れる。
	7月	(古文) 物語「大鏡：雲林院の菩提講」	「大鏡」を読み、設定や語り手について整理し、登場人物の人物像や心理を考えるとともに、物語の世界に親しむ態度を養う。

学期・月等	単元	ねらい
9月	(古文) 物語「源氏物語：光源氏の誕生」	「源氏物語」を読み、登場人物の人物像や心理を考えるとともに、物語の世界に親しむ態度を養う。
10月	(古文) 物語「源氏物語：若紫」	「源氏物語」を読み、登場人物の人物像や心理を考えるとともに、物語の世界に親しむ態度を養う。
11月	(古文) 詩歌「万葉秀歌」「王朝秀歌」	代表的な和歌作品を読み、和歌の解釈・鑑賞法について学ぶことで、描かれた情景や心情を理解するとともに、日本の伝統と文化について理解を深め、言語感覚を豊かにする。
12月	(漢文) 思想「人間論：性相近也」	思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、その思想の生まれた時代背景への理解を深め、わが国の文化や社会に与えた影響についても考える。
1月 2月 3月	(古文) 近世小説「世間胸算用」「雨月物語」	登場人物の性格を、行動から読み取る。 登場人物の心情を、表現に即して考える。
学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。	
備考		

教科名	国語科	科目名	現代文B
対象学年	高校3年	コース・選択	コース I
単位数	3単位	教科書 (出版社)	教育出版
使用教材	チャート式基礎学力システム必修現代文（数研出版） チャート式基礎学力システム必修現代文演習ノート（数研出版） 頻度j順別漢字2300PLUS（桐原書店）		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	（随想）後生の桜	忘れてはならぬ記憶としての水俣病を人々の生活と言葉を通して考える。
	5月	（小説）アルプスの少女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代小説を読み、テーマや方法の多様性を知る。</li> <li>・作品中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深める。</li> </ul>
	6月	（評論）虚構のリアリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の論理構造に注目して評論文を読み解く力を養う。</li> <li>・現実を「表現」とするという人間の営為について理解を深める。</li> </ul>
	7月	（詩）落葉 小諸なる古城のほとり 小景異情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読、黙読を繰り返し、文語定型・自由詩のリズムや語感を味わう。</li> <li>・比喩表現の効果を理解し、象徴詩としてのこの詩の特徴や近代詩に与えた影響を考える。</li> </ul>
	7月 9月 10月	（小説）舞姫	描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	11月	（評論）問われる「身体」の生命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章の読解力を高め、論理的思考力を養う。</li> <li>・現代における人間のありかたや生命倫理の問題について認識を深め、自分なりの意見を持つ。</li> </ul>
	12月 1月	（小説）おどる男	戦後社会の実態を通して、日本の置かれていた状況やそこに露呈した人間存在について考える。
学習の留意点・評価など	漢字、現代語等の小テストも定期的に行う。 高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには総合的実践力を育成するに足る言語力を身につけさせる。 高校生の知性や感性の育成のために、エッセイ、小説、詩などの文学教材におけるすぐれた文章を味わわせる。		



教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校3年	コース・選択	コースI
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典B古文編・漢文編(教育出版)
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最新国語便覧(浜島書店)</li> <li>○日本文学史必携(第一学習社)</li> <li>○チャート式必修古文(数研出版)</li> <li>○対訳古典文法(第一学習社)</li> <li>○新明説漢文(尚文出版)</li> <li>○出る順に学ぶ頻出単語400(Z-KAI)</li> <li>○チャート式必修漢文(数研出版)</li> <li>○古典文法練習ノート(第一学習社)</li> <li>○新明説漢文ノート(尚文出版)</li> </ul>		
学習のねらい	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 随筆「枕草子 宮に初めて参りたるころ」	随筆を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像にふれることで、古典に親しむ態度を養う。
	5月	(漢文) 史伝「史記 刎頸之交」	読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典にふれる楽しさを味わう。
	6月	(古文) 物語「源氏物語 葵」	話の展開を正確に読み取るとともに、和歌に託された心情を考えることで、物語を読解する力と古典に親しむ態度を養う。自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れる。
	7月	同上	同上
	9月	(漢文) 漢詩「長恨歌」	「長恨歌」の時代背景を理解し、全体のあらすじをとらえる。「源氏物語」への影響を考える。
	10月	同上	同上
	11月	(古文) 物語「大鏡 花山天皇の出家」	登場人物の性格を、行動から読み取り、登場人物の心情を、表現に即して考える。
	12月	同上	同上
	1月 2月 3月	(古文) 随筆「和泉式部日記 帥の宮からの便り」	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。この日記の特徴を理解する。
学習の留意点・評価など	<p>古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。</p>		

教科名	国語科	科目名	現代文B
対象学年	高校3年	コース・選択	コースII
単位数	3単位	教科書 (出版社)	教育出版
使用教材	チャート式基礎学力システム必修現代文(数研出版) チャート式基礎学力システム必修現代文演習ノート(数研出版) センター対策オリジナル問題集現代文MI-M9(尚文出版) 頻度順別漢字2300PLUS(桐原書店)		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(随想) 後生の桜	忘れてはならぬ記憶としての水俣病を人々の活と言葉を通して考える。
	5月	(小説) アルプスの少女	・現代小説を読み、テーマや方法の多様性を知る。 ・作品中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深める。
	6月	(評論) 虚構のリアリズム	・文章の論理構造に注目して評論文を読み解く力を養う。 ・現実を「表現」という人間の営為について理解を深める。
	7月	(詩) 落葉 小諸なる古城のほitori 小景異情	・朗読、黙読を繰り返し、文語定型・自由詩のリズムや語感を味わう。 ・比喩表現の効果を理解し、象徴詩としてのこの詩の特徴や近代詩に与えた影響を考える。
	7月 9月 10月	(小説) 舞姫	描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	11月	(評論) 問われる「身体」の生命	・論理的な文章の読解力を高め、論理的思考力を養う。 ・現代における人間のありかたや生命倫理の問題について認識を深め、自分なりの意見を持つ。
	12月 1月	大学入試問題の研究	
学習の留意点・評価など	漢字、現代語等の小テストも定期的に行う。 高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには総合的実践力を育成するに足る言語力を身につけさせる。 高校生の知性や感性の育成のために、エッセイ、小説、詩などの文学教材におけるすぐれた文章を味わわせる。		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅡ
単位数	3単位	教科書 (出版社)	古典B古文編・漢文編(教育出版)
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最新国語便覧(浜島書店)</li> <li>○日本文学史必携(第一学習社)</li> <li>○チャート式必修古文(数研出版)</li> <li>○対訳古典文法(第一学習社)</li> <li>○新明説漢文(尚文出版)</li> <li>○センター対策オリジナル問題集C1-C9(尚文出版)</li> <li>○出る順に学ぶ頻出単語400(Z-KAI)</li> <li>○チャート式必修漢文(数研出版)</li> <li>○古典文法練習ノート(第一学習社)</li> <li>○新明説漢文ノート(尚文出版)</li> </ul>		
学習のねらい	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 随筆「枕草子 宮に初めて参りたるころ」	随筆を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像にふれることで、古典に親しむ態度を養う。
	5月	(漢文) 史伝 史記「刎頸之交」	読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典にふれる楽しさを味わう。
	6月	(古文) 物語「源氏物語 葵」	話の展開を正確に読み取るとともに、和歌に託された心情を考えることで、物語を読解する力と古典に親しむ態度を養う。自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れる。
	7月	同上	同上
	9月	(漢文) 漢詩「長恨歌」	「長恨歌」の時代背景を理解し、全体のあらすじをとらえる。「源氏物語」への影響を考える。
	10月	同上	同上
	11月	(古文) 物語「大鏡 花山天皇の出家」	登場人物の性格を、行動から読み取り、登場人物の心情を、表現に即して考える。
	12月	同上	同上
	1月 2月 3月	大学入試問題の研究	
学習の留意点・評価など	<p>古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。</p> <p>伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。</p>		

教科名	国語科	科目名	現代文B
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅢ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	教育出版
使用教材	チャート式基礎学力システム必修現代文(数研出版) チャート式基礎学力システム必修現代文演習ノート(数研出版) センター対策オリジナル問題集現代文MI-M(尚文出版) 頻度j順別漢字2300PLUS(桐原書店)		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(随想) 後生の桜	忘れてはならぬ記憶としての水俣病を人々の活と言葉を通して考える。
	5月	(小説) アルプスの少女	・現代小説を読み、テーマや方法の多様性を知る。 ・作品中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深める。
	6月	(評論) 虚構のリアリズム	・文章の論理構造に注目して評論文を読み解く力を養う。 ・現実を「表現」という人間の営為について理解を深める。
	7月	(詩) 落葉 小諸なる古城のほitori 小景異情	・朗読、黙読を繰り返し、文語定型・自由詩のリズムや語感を味わう。 ・比喩表現の効果を理解し、象徴詩としてのこの詩の特徴や近代詩に与えた影響を考える。
	7月 9月 10月	(小説) 舞姫	描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	11月	(評論) 問われる「身体」の生命	・論理的な文章の読解力を高め、論理的思考力を養う。 ・現代における人間のありかたや生命倫理の問題について認識を深め、自分なりの意見を持つ。
	12月 1月	大学入試問題の研究	
学習の留意点・評価など	漢字、現代語等の小テストも定期的に行う。 高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには総合的実践力を育成するに足る言語力を身につけさせる。 高校生の知性や感性の育成のために、エッセイ、小説、詩などの文学教材におけるすぐれた文章を味わわせる。		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅢ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典B古文編・漢文編(教育出版)
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最新国語便覧(浜島書店)</li> <li>○日本文学史必携(第一学習社)</li> <li>○チャート式必修古文(数研出版)</li> <li>○対訳古典文法(第一学習社)</li> <li>○新明説漢文(尚文出版)</li> <li>○センター対策オリジナル問題集C1-C9(尚文出版)</li> <li>○出る順に学ぶ頻出単語400(Z-KAI)</li> <li>○チャート式必修漢文(数研出版)</li> <li>○古典文法練習ノート(第一学習社)</li> <li>○新明説漢文ノート(尚文出版)</li> </ul>		
学習のねらい	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 随筆「枕草子 宮に初めて参りたるころ」	随筆を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像にふれることで、古典に親しむ態度を養う。
	5月	(漢文) 史伝 史記「刎頸之交」	読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典にふれる楽しさを味わう。
	6月	(古文) 物語「源氏物語 葵」	話の展開を正確に読み取るとともに、和歌に託された心情を考えることで、物語を読解する力と古典に親しむ態度を養う。自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れる。
	7月	同上	同上
	9月	(漢文) 漢詩「長恨歌」	「長恨歌」の時代背景を理解し、全体のあらすじをとらえる。「源氏物語」への影響を考える。
	10月	同上	同上
	11月	(古文) 物語「大鏡 花山天皇の出家」	登場人物の性格を、行動から読み取り、登場人物の心情を、表現に即して考える。
	12月	同上	同上
	1月 2月 3月	大学入試問題の研究	
学習の留意点・評価など	<p>古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。          古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。          伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。</p>		

教科名	国語科	科目名	国語表現	
対象学年	高校3年	コース・選択	コースI (A4)	
単位数	2単位	教科書 (出版社)	国語表現 (第一学習社)	
使用教材	国語表現ワークノート (第一学習社)			
学習のねらい	日常生活における言語活動を、語彙・技術の面を含めて豊かにする。 言語・文字を用いない表現や、舞台芸術にも目を向け、理解を含める。 現代だけでなく、日本古来の優れた表現にも目を向けさせ、興味を持たせる。 実践活動を通して、表現力を確実に身に付け、表現する楽しさを実感する。			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	1学期 4月	舞台芸術における表現	芸術鑑賞会に向けて、舞台芸術における表現に興味を持つ。 ①歌舞伎・文楽・能・狂言等、古典芸能における表現を理解させる。  ②歌舞伎を鑑賞して、作法や表現などを体験し、将来に続く興味を育む。	①西洋的な芸術表現に目を向けがちな日常であるが、今も受け継がれている日本固有の芸術・芸能に気付かせ、興味を持たせる。 ②舞台芸術における表現を通して、日本語の魅力について理解させる。
	5月	スピーチ	①スピーチの内容にふさわしい事柄・エピソードを考える ②論理的かつ文学的文章となるよう、表現に工夫を凝らす  ③スピーチをする・スピーチを聞く態度を身に付ける。	①自己の主張が正確に伝わるように、内容を吟味し、表現に工夫を凝らして、スピーチにふさわしい原稿を書かせる。
	6月	表現の工夫	①種々の表現技法とその効果について理解する。  ②文章中の表現技法の効果について分析し、自らの表現にも工夫を凝らす態度を身に付ける。	①比喩・オノマトペ・倒置法・体言止め等の技法と効果についての理解を深めさせる。 ②ことわざ・故事成語・慣用句等、語彙を増やし、豊かな表現力を身に付けさせる。
	7月	手紙の書き方 (ハガキ編)	手紙 (ハガキ) の形式を学習し、用途に応じた適切な手紙を書く。	目上の相手にふさわしい暑中見舞いを書かせる。

	学期・月等	単 元	ね ら い	留意点
学 習 内 容 と 流 れ	2学期 9月 10月	図書紹介	①自己の主張を的確に相手に伝え、相手を説得する表現力を身に付ける。 ②文章を簡潔にまとめるため、引用やキヤッチコピーを効果的に活用する。 ③図書製本の各部の名称や、分類記号を学ぶ。	①プレゼンテーション技術を身に付けさせる。 ②図書館の利用方法を確認させる。
	11月 12月	点字	①言語・文字を用いた表現以外にも表現の方法があることに気付く。 ②その一つである点字を学び、身近にある点字の表現を意識する。	①点字の歴史・なりたち・きまりを理解させる。 ②点字の読み方。書き方を身に付けさせる。 ③点字器を用いて、点字を用いた文章を書かせる。
	3学期 1月 2月	手紙の書き方 (便箋・封筒編)	①手紙（便箋・封筒）の形式を学習し、用途に応じた適切な手紙を書く。 ②時候の挨拶等、季節感を表す表現を身に付ける。 ③正しい敬語の使い方を身に付ける。	目上の相手にふさわしい手紙を書かせる。
学習の留意点・評価など	実践を多く取り入れて、現実に即した表現力を身に付けさせる。			
備 考	DVD等の映像教材を活用する。			

教科名	国語科	科目名	古典演習
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅡ (B4)
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典B (古文編・漢文編) (教育出版)
使用教材	対訳古典文法 (第一学習社)、頻出古文単語400 (Z会)、新明説漢文 (尚文出版) 実践テスト センター試験対策 オリジナル国語問題集 古典 (京都書房)		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読むことによって、日本の文化と伝統に対する関心を深め、 生涯に渡って古典に親しむ態度を育てる。 古典作品を読み解き、鑑賞する能力を磨く。		
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い
	4月	堤中納言物語「貝合」	「源氏物語」の後に成立した短編物語を読み、登場人物の心情や行動を読解し、話のおもしろさを読み味わう。物語の世界により深く親しむ態度を養う。
	5月	搜神記「千日酒」	中国の小説の読み取りをとおして、その構成や展開に即して内容を的確に捉える。志怪や伝奇を中心とした虚構の世界を味わう。
	6月	大鏡「宣耀殿の女御の教養」	歴史物語を読み、そこに描かれたエピソードや人物の姿を「枕草子」の関連部分と比較して読み取る。「大鏡」の語り手のスタンスを正しくとらえて鑑賞する。
	7月	莊子「治馬」	諸子百家の文章を読み、道家・墨家について思想を理解し、ものの考え方を豊かにする。
	9月	歌論「無名抄」	和歌に関する評論を読み、作品の根底にある思想を知る。和歌の表現における重要性を考える。
	10月	源氏物語「紫上の死」	「源氏物語」の作品世界に触れ、時代を超えた人間の真実について読み味わって、古典に親しむ態度を養う。
	11月	玉勝間「兼好法師への批判」	近世の評論を読み古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方を知り視野を広げる。
	12月	演習	大学入試問題の研究。
	1月	演習	大学入試問題の研究。
学習の 留意点・ 評価など	評価にあたっては次の四つの観点を設定する。 1、関心・意欲・態度 2、知識・理解 3、理解力・読解力 4、鑑賞		



<b>教科名</b>	国 語 科	<b>科 目 名</b>	現代文センター演習 B1	
<b>対象学年</b>	高校3年	<b>コース・選択</b>	コースII	
<b>単位数</b>	2単位	<b>教科書 (出版社)</b>	—	
<b>使用教材</b>	2018 センター試験対策問題集⑤ 国語 現代文			
<b>学習の ねらい</b>	評論、小説センター対策問題の、テストゼミ形式の演習によって実践力を身に付ける。			
<b>学 習 内 容 と 流 れ</b>	<b>学期・ 月等</b>	<b>単 元</b>	<b>ね ら い</b>	<b>留意点</b>
	1学期	文学のトポロジー	評論文の読解演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20分での解答時間の厳守</li> <li>・ 思考させ論理で追いかけるアクティブラーニングの実践</li> <li>・ 模擬試験へのフィードバック</li> </ul>
		心のたなびき		
		文化と不平等		
		日本文化における時間と空間		
		魔性の世界		
		私の幸福論		
		人はなぜ働かなくてはならないのか		
		故郷の記憶・序説		
		文化を交叉させる		
		教育の力		
	アートヒステリー			
	2学期	マイマイ新子	小説の読解演習	
		少年たちの戦場		
		おとうと		
		枯れ木の花		
		ひこうき雲		
		真鶴		
		姉と妹		
ロクタル管の話				
傲慢な目				
麦藁帽子				
たずねびと				
<b>学習の 留意点・ 評価など</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能動的な学びができているか。</li> <li>・ 実力養成のための演習になっているか。</li> </ul>			
<b>備 考</b>				

教科名	国語科	科目名	B2 現代文演習
対象学年	高校3年	コース・選択	IIコース・B2選択
単位数	2単位	教科書 (出版社)	ちくま評論入門 (筑摩書房)
使用教材	ちくま評論入門 (筑摩書房)、実践テストセンター試験対策 (京都書房) 入試問題過去問 (プリント)		
学習のねらい	さまざまなジャンルの評論文に触れ、大学入試頻出の評論文の読解力を身につける。 実際の入試過去問にも触れ、解答力を高める。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	未来の他者と連帯する (私大入試過去問)	大学入試頻出の著者の評論文を読み、読解の基礎を確認する。
	5月	衣服という社会 (私大入試過去問)	社会論における事象の捉え方を確認する。
	6月	科学が宗教になる (私大入試過去問)	科学論に於ける頻出著者の評論を通して、科学的思考に触れる。
	7月	他者の言葉	言語論・コミュニケーションに触れる。
	9月	「つながり」と「ぬくもり」	入試最頻出の著者の評論を通して、社会関係論に触れる。
	10月	人間と政治 (国公立2次過去問)	政治・社会論の古典的な評論に触れる。
	11月	部分と全体	文化論・時間論に於ける概念の捉え方を身につける。
	12月	(2次対策・センター対策)	入試の実践的演習を通して、学力の完成を図る。
学習の留意点・評価など	自ら読み、考える、主体的な学習への取り組みを演習形式の授業を通して身につけさせることで、大学入試に於ける実力を養成する。評論文を論理的に読み、設問へとアプローチする力を重視する。		
備考	入試過去問については、生徒の志望状況等に配慮して、随時選択していく。		